

令和6年(2024年)11月14日

令和6年度 第62回高教研商業部会研修集会

(1) 主 題 「未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育」

(2) 日 時 令和7年1月9日(木) 9:00~16:00

	9:00	9:30	10:10	11:40	13:00	13:40	14:20	15:50	
	設営	受付	開会式 総会	講 演	昼 食	研究 発表 ①	研究 発表 ②	研究協議	閉 会 式

(3) 会 場 北海道大学地球環境科学院  
D201 大講義室  
/[控室]講義室 C202  
※最寄り駅：北12条駅



(4) 実施方法 対面実施 オンライン併用  
(Zoomではなく Google meet の予定)

(5) 講 演

演 題 『高校と地域企業・大学が連携し、アントレプレナーシップ教育を充実させていくためには』

講 師 株式会社コエルワ 取締役 COO  
嶋本 勇介 (しまもと ゆうすけ) 氏

プロフィール

北海道札幌市出身。札幌国際情報高校卒業後、北海道大学へ進学。2015年に新卒で、デロイトトーマツコンサルティング合同会社にて、大手企業の戦略策定・経営再建等に従事。2019年Uターン後、延べ1,000人以上が参加した高校生向けオンラインキャリアスクールの立ち上げ等を実施。広域連携による教育環境の魅力化手法を検証する文科省・経産省の事業にも多数関与している。



講演概要

- ・ アントレプレナーシップ教育の潮流について
- ・ 札幌市立高校8校が連携して実施する、単位取得可能なアントレプレナーシップ教育プログラムの実践事例
- ・ 札幌啓北商業高校での実践事例

(6) 研究発表 「特色ある教育実践等」「指導と評価の一体化に関する取組」等

①「士別東での実践と石狩翔陽での試み」

『コンピテンシーベース』で考える情報Ⅰの代替科目としての情報処理

北海道石狩翔陽高等学校 佐藤 健 教諭

助言：オホーツク教育局教育支援課高等学校教育指導班主任指導主事 平舘 晃 様

②「地域を題材にした探究活動について」

～課題研究 観光ビジネスなどの取り組み～

北海道中標津高等学校 伊藤 陽一 教諭

助言：北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係指導主事 北堀 智隆 様

(7) 研究協議 「観点別学習評価の完成年度にあたり」

(8) 研究紀要第 62 号

執筆者 北海道奈井江商業高等学校 一ノ瀬 亜澄 教諭

テーマ 「総合的な探究の時間」から「課題研究」へ  
～教科を超えて地域と繋がる～

※ 特別教科研究助成の対象校が研究最終年度に寄稿するため

令和6年度 高教研商業部会運営（11月5日現在）

		職名	氏名	所属
研究発表		教諭	佐藤 健	北海道石狩翔陽高等学校
		教諭	伊藤 陽一	北海道中標津高等学校
助言	研究発表	指導主事	北堀 智隆	北海道教育庁学校教育局高校 教育課キャリア教育指導係
	研究協議	主任指導主事	平舘 晃	オホーツク教育局教育支援課 高等学校教育指導班
司会	講演	教頭	前中 孝洋	北海道小樽未来創造高等学校
	研究発表	教頭	宮本 磨巳子	北海道苫前商業高等学校
	研究協議	教頭	山崎 剛	北海道函館商業高等学校
記録	講演	教諭		
	研究発表	教諭		
	研究協議	教諭		
運営委員		副校長	松山 淳一郎	北海道札幌東商業高等学校
		教頭	茂木 佳紀	北海道札幌国際情報高等学校
		副校長	工藤 正人	北海道千歳高等学校
		教頭	梅澤 謙	市立札幌啓北商業高等学校